

いじめ防止みなよし学習 実施

南吉成中学校独自のいじめ防止に関する行事「いじめ防止みなよし学習」の今年度2回目を8日（金）に実施しました。

今回は、1～3年生の縦割りで4～7人ずつのグループをつくり、ひとつのいじめの事例をもとにシチュエーションごとに話し合い



ました。話し合いは、3年生がリーダーとなって進めました。一人一人が、しっかりと自分の思いや意見を記述し、それを基にして発言します。1年生も2～3年生と変わらず、堂々と発言して話し合いを進めていました。

活動の最後に、気づいたことなどを記述しました。1年生が記述した内容を次にいくつか紹介します。

1組 女子 私は自分がどうにかしてとっていたけど、一人で怖かったら周りの人と言ったり、みんなでいじめられない雰囲気を作ったりするって意見が出て、確かにそうすれば！って思いました。

1組 男子 いじめを止めに入るのは、自分がいじめられるかもしれないけど、勇気を出して先生に相談することが大切。

2組 女子 すぐに注意するのではなく、「どうしたの？」と話しかける。

2組 男子 いじめに対しての考えは、あまり皆変わらないのだと思いました。意見が似ていたり、逆に新しい案が出たりなど様々でした。クラス、学年を飛び越えての活動は、とても新鮮で有意義でした。

3組 女子 グループの中では、直接止めに入らなくても相談するべき、という意見が多かったと思います。私はまわりで見ている人たちが、いじめている人に流されずに自分で考えて動くという意見に共感しました。

3組 男子 自分は、仲裁的な立場に立って話を聞くことが大切だと思っていたのですが、まずはいじめられている人に寄り添ってあげることも大切だとグループの人の意見を聞いて思いました。



南吉成中学校

いじめ防止キャラクター

「いじめかもしか」

